

公益財団法人水島地域環境再生財団 令和元（2019）年度 事業報告書

総括

今年度は、2020年3月14日に設立20年を迎えるにあたり、「みずしま財団設立20年記念事業実行委員会」を立ち上げ、宮本憲一先生講演会をはじめとする記念事業に取り組むとともに、1995年に作成した「水島再生プラン」の振り返りを通じて、水島の現状の再認識と新たな将来展望を作成することができた。

12月には、第7回目となる「公害資料館連携フォーラム in 倉敷」を、川崎医療福祉大学を会場に開催し、全国からの参加者と意見交流を通じて、これまでの取組の成果を再認識するとともに、今後に向けての示唆を得る機会となった。

2013年度から取り組む、環境学習を通じた地域づくりの取り組みでは、視察研修の受け入れ、モデルツアーを継続する中で、商店街の未利用空間の活用を目指した新たな団体が立ち上げられたり、自然栽培に取り組む団体と連携したプログラムを初めて実施するなど、地域での連携が広がってきている。

このように、20年の節目として、事業の積み重ねの成果を実感することができたが、財政的には、想定していた事業を獲得できなかったことなどもあり、大幅な赤字となった。みずしま財団が持続可能な組織となるため、これまで蓄積した知見や関係性をどう財政面につなげていくかも含めて、早急な対応が必要である。

公益目的事業1

（1）公害地域の再生・地域づくりに関わる調査研究および活動

近年、世界的に注目されている海ごみ問題について、国や県の事業を直接獲得するには至らなかったが、他団体による発生源対策としての内陸部での実態把握調査やその発生抑制対策モデル調査に関わった。そのことで、高梁川流域以外での河川のごみの発生状況や発生抑制対策の効果といった知見を積み重ね、県北部で環境活動に取り組む団体との関係性を深めることができた。

公害資料館連携フォーラムという全国から参加者が来る取組を倉敷で実施したことで、水島での活動を発信するとともに、資料の保存・活用についての知見を得ることができた。

①岡山県温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度評価分析と活用事業

事業内容	今年度も、日本共産党岡山県議団の政務調査費事業として「岡山県温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」の評価・分析を行い、報告書を作成した。本事業の成果の活用として、「STOP 温暖化くらしき実行委員会」に協力し、講演会（12/9）で歌川学氏が本事業をもとに講演を行うことで、市民向けの啓発を行った。 9/24 須増県議と打ち合わせ 12/9 講演会「地域で取り組む地球温暖化対策」（講師：歌川学氏 主催：STOP 温暖化くらしき実行委員会）の開催協力
-------------	---

②海ごみの発生源対策としての、内陸河川での回収処理体制確立に向けた基礎調査

事業内容	環境省「平成31年度海洋ごみ削減のための複数自治体等連携による発生抑制対策等モデル事業等実施業務」として、津山市での調査、出前講座による啓発を行った。 日本財団の委託事業として、笹ヶ瀬川における河川ごみの実態把握調査を行った。 当初想定していた岡山県の調査事業及びフォーラム事業は、獲得に至らなかったが、上記調査事業等に関わることで、高梁川流域以外の河川流域でのごみの発生状況や発生抑制対策の効果といっ
-------------	---

	<p>た知見や、県北部で環境活動に取り組む団体との関係性を深めることができた。</p> <p>日本財団（(株)ピリカ）委託事業</p> <p>5/13-14 笹ヶ瀬川調査</p> <p>6/9-10 笹ヶ瀬川調査</p> <p>環境省海ごみ対策モデル事業（JEAN）</p> <p>7/2-3、8/7、9/10、10/11 津山市宮川における現地調査</p> <p>9/11 出前講座「海のごみと私の暮らしを考えよう」実施</p>
--	---

③資料保存・整理・活用・資料館づくり

事業内容	<p>第7回目となる公害資料館連携フォーラム in 倉敷が、12月13-15日（13日はエクスカージョン）にかけて、川崎医療福祉大学を会場に開催された。みずしま財団は、現地事務局を担当した。実行委員長は、川崎医科大学の大槻剛巳教授に務めていただいた。109名の参加があった。企業分科会、地域づくり分科会、資料分科会、公害入門の分科会を担当し、これまでの公害経験の継承、資料保存・活用、環境学習の取り組みをさらに広げていくきっかけとなる会となった。</p> <p>6/24 公害資料館ネットワーク総会、第1回公害資料館フォーラム実行委員会</p> <p>6/25 公害資料館フォーラム勉強会</p> <p>11/18 第2回公害資料館連携フォーラム実行委員会</p> <p>12/13-15 第7回公害資料館連携フォーラム in 倉敷</p> <p>2020/2/7 第3回公害資料館連携フォーラム実行委員会</p> <p>あさがお会館で資料を基に作成した展示を行い、岡山大学からの紹介で留学生や大学の教員に紹介した。</p> <p>8/30 バングラディッシュからの留学生（岡山大学）に説明</p> <p>11/1 吉林大学の教員・留学生（7名）に説明</p> <p>2020/2/25 ミャンマー大学の教員（10名）に説明</p>
-------------	--

④水島地域のまちづくりと関連させた八間川調査

事業内容	<p>倉敷市環境学習センターとの連携事業として八間川調査、コンビナートツアーを実施した。</p> <p>6/22 第65回八間川調査</p> <p>8/20 水島コンビナートをもっと知ろう！環境学習エコツアー</p> <p>8/24 第66回八間川調査</p> <p>調査研究活動等で得られた知見、各種行政の審議会・委員会等の場で意見や提言をした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国環境パートナーシップオフィス（EPO ちゅうごく）運営委員会（5/28、2020/1/31） ・岡山県河川整備検討委員会（8/26） ・岡山県環境学習協働推進広場（おかやまかんきょうひろば）運営委員会（4/23、5/27、7/29、2020/1/20） ・岡山県環境審議会廃棄物部会（2020/1/31） ・倉敷市生物多様性審議会（7/11、2020/1/15） ・岡山県環境マネジメントシステム外部評価委員会（2020/2/28）
-------------	---

(2) 公害経験や公害地域の再生・地域づくりに関わる情報交流事業

2019年3月に設立20周年を迎えるにあたり、実行委員会を立ち上げ、記念事業について議論、準備を行った。宮本憲一氏講演会や『真実が勝った日』（復刊）の発行などに取り組むことができたが、記念講演会&レセプション（3/14）や、一部のパネル展は、新型コロナウイルスの影響で延期・中止となった。

国・地方自治体が、ともに取り組みを重視するESD、SDGsの普及啓発事業を当財団の実施課題として検討を進め、再生プランの検証などに取り入れることができた。

①みずしま財団20周年記念事業

事業内容	<p>みずしま財団の設立20周年を記念した事業について、実行委員会を立ち上げ、協議しながら実施した。記念事業としては、宮本憲一氏講演会（10/14）、『真実が勝った日』復刊、パネル展「水島の過去・現在・これから」を実施した。NPO法人地域づくり工房と連携し、「水島再生プラン（1995年作成）」の見直しを行い、『2030年の水島、こうなったらいいな』の作成を行った。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から2020年3月14日に開催予定だった講演会&レセプションは延期した。水島協同病院で予定していたパネル展は中止し、倉敷市役所については、延期とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みずしま財団設立20周年記念事業実行委員会（5/21、6/23、7/23、8/20、10/22、12/4、2020/1/29、2/20） ・10/13 フィールドワーク「宮本先生とめぐる水島の旅」、懇親会 ・10/14 講演会「公害克服の歴史と環境再生の課題 ～水島の過去・現在・未来～」 講師：宮本憲一氏 ・2020/2/3～10 パネル展「水島の過去・現在・これから」（倉敷市役所水島支所）
-------------	--

②公害地域再生・地域づくりに関わる市民活動団体等への運営支援・連携

事業内容	<p>水島を中心に岡山、倉敷地域で活動する市民団体・グループの活動を支援し、環境保全・地域づくりの活動のレベルアップを目指した取り組みを進めた。今年度は、水島商店街の空きスペースを活用して地域のにぎわいづくりを目指す活動（ミズシマ・パークマネジメント・ラボ）と大学生の学びの活動をつなげてイベントを実施するなど、新たな動きの創出に関わった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・STOP 温暖化くらしき実行委員会 12/9 講演会「地域で取り組む地球温暖化対策」（講師：歌川学氏）の開催協力 ・おかやま環境ネットワーク理事会 ・倉敷・総社温暖化対策協議会 ・おかやま環境教育ミーティング実行委員会 ・NPO法人かけはし ワーキンググループ ・（一社）高梁川流域学校 ・水島おかみさん会（みずしま夢K o i ・ K o i !、水島お雛めぐり） ・ミズシマ・パークマネジメント・ラボ
-------------	---

③ESD、SDGsの実現に向けた普及・啓発事業

事業内容	<p>平成31年度 持続可能な開発目標（SDGs）を活用した地域の環境課題と社会課題を同時解決するための民間活動支援事業を昨年度に引き続き実施した。モデルツアーや水島学講座（国際編）</p>
-------------	---

	<p>の実績を積み重ね、環境分野以外の団体等と関係性の構築を進めることができた。また、若者の地域での学びを進めるため、高校生の水島のまちに関する意識のアンケート調査を地元倉敷古城池高校との連携で取り組んだ。これらの活動を通じて、SDGs をキーワードに、持続可能な地域を目指した取り組みを進めることができた。</p> <p>5/20 環境省同時解決事業 第1回地域連絡会</p> <p>7/9 第20回 環境学習を通じた人材育成・まちづくりを考える協議会</p> <p>7月下旬~8月 「水島地域ならびに、近隣の高校に通う高校生から見た、水島のまち」アンケート調査の実施</p> <p>8/29-31 モデルツアープログラム（岡山大学実践型社会連携授業と連携）の実施</p> <p>9/14 水島学講座（国際編）の実施</p> <p>9/27 高梁川ミーティング in 水島（（一社）高梁川流域学校と連携で開催）</p> <p>11/8 みずしま滞在型環境学習コンソーシアムシンポジウム「若者の学びでつくるまちのにぎわい in 水島」</p> <p>11/23-24 モデルツアー「SDGs を現場で学ぶ」実施</p> <p>2020/2/19 環境省同時解決事業 第2回地域連絡会</p> <p>2/23 環境省同時解決事業「ローカル SDGs ギャザリング 2020（東京）」に参加、発表</p> <p>3/2 第21回 環境学習を通じた人材育成・まちづくりを考える協議会</p> <p>持続可能な地域づくりに向けた、若者の学びの支援の取り組みとして、島根大学松本一郎教授を講師に迎えてのセミナー（9月）と、多様な世代で語り合うプログラム（2月）を実施した（倉敷市委託事業）。</p> <p>9/29 セミナー「持続可能な地域づくりに向けた若者の学び」開催</p> <p>2020/2/2 「教えて、先輩！ ～自然・環境×地域～」開催</p> <p>2017年度に登録した「地域 ESD 活動推進拠点」として、地域における ESD 活動の支援、相談対応等を行った。12月に東京で開催された「ESD 推進ネットワーク全国フォーラム」に参加し、全国の団体との情報交流を行った。</p> <p>12/20-21 ESD 推進ネットワーク全国フォーラム（東京）に参加・活動展示</p>
--	--

④たより、年次報告書の定期発行、内容の充実

事業内容	<p>たよりを継続して発行。たよりの発送に合わせて、賛助会費の納入を呼び掛けた。</p> <p>たより 95、96、97、98号を発行した。</p>
------	--

⑤HP、SNS、マスメディア等による情報発信の充実

事業内容	<p>みずしま財団の活動を周知するため、FM くらしき「みずしま財団エコらぼ Friday」（毎週金曜日）、ブログ、facebook 等による情報発信を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FM くらしき「みずしま財団エコらぼ Friday」毎週金曜 15:45~16:00 4月から月1回を岡田評議員が担当した。 ・ ソーシャルメディア（ブログ、facebook 等）を活用し、効果的な情報発信を目指した。
------	--

(3)「滞在型環境学習プログラム」の実施と保健活動等支援事業

2018年に立ち上げた「みずしま滞在型環境学習コンソーシアム」の関係者との協働によりモデルツアーや地元高校生などと連携した取り組みを進めた。モデルツアーの実施にあたっては、農漁業に関する学びなど幅が広がってきている。一方で地域の人々への「学びによる地域づくり」の効果を発信し、水島が学びに訪れる価値のある地域であると認識してもらうための交流の機会を十分に設けることができなかつた。今後はさらに地域との意見交流の場づくりが求められている。

環境保健では、前年度までの（独法）環境再生保全機構による予防事業の成果を生かし、くらしき COPD ネットワークの取組や地域のミニ健康展などにおける肺年齢測定を継続することで、本問題の地域への啓発、早期発見・治療に向けた取り組みを進めることができた。

①滞在型環境学習プログラムの実現に向けたモデルツアーの実施

事業内容	<p>昨年度に引き続き、みずしま滞在型環境学習コンソーシアム体制づくり検討会を開催し、運営体制、具体的なプログラム等についての議論を行った。8/29-31のモデルツアープログラムの実施にあたっては、岡山大学実践型社会連携授業と連携し、大学生と地域住民と一緒に空間づくりを行うプログラムを実践した。11/23-24に実施したモデルツアーでは、初めて「NPO 法人岡山県木村式自然栽培実行委員会」と連携してプログラムを実施するなど、活動の幅が広がってきている。</p> <p>7/1 みずしま滞在型環境学習コンソーシアム体制づくり検討会 8/29-31 モデルツアープログラム（岡山大学実践型社会連携授業と連携）の実施 10/24 みずしま滞在型環境学習コンソーシアム体制づくり検討会 11/23-24 モデルツアー「SDGsを現場で学ぶ」実施 2020/1/21 みずしま滞在型環境学習コンソーシアム体制づくり検討会</p>
-------------	---

②小・中・高・大学、生涯学習等 講師派遣

事業内容	<p>高校・大学の授業や、公民館の講座等へ財団の職員を講師として派遣し、環境学習の提供、市民や学生など多様な世代が学ぶ機会を増やすことができた。今年度は、プラスチックごみを中心とした海ごみ問題の世界的な関心の高まりもあり、本問題に関する講師派遣が14件あった。また、環境学習を通じた人材育成・まちづくりを考える協議会の取組として、小学校への出前教室プログラムを呼び掛け、新たに2件実施することができた。</p> <p>5/8 岡山大学（水島の公害について） 5/24 玉野市環境衛生協議会（海ごみ） 5/27 岡山大学（水島の公害について） 5/30 吉備公民館、岡山東公民館（海ごみ） 6/8 海洋ごみゼロプロジェクト in 岡山（玉野 海ごみ） 6/20 伊島小学校（フードマイレージ買い物ゲーム） 6/26 水島小学校出前授業（八間川） 倉敷古城池高校（環境学習の取り組み） 6/28 津島小学校（フードマイレージ買い物ゲーム） 7/10 岡山理科大学 環境政策講座（水島の公害について） 7/11 ウィズアップ倉敷（海ごみ） 7/13 シオ太のアマモ大作戦（牛窓 海ごみ） 7/22 倉敷南高等学校ラーニングカフェ（キャリア） 7/24 クルクルセンター講座（海ごみ）</p>
-------------	---

<p>7/25 岡輝公民館（海ごみ）</p> <p>8/9 海洋ごみゼロプロジェクト in 岡山（寄島 海ごみ）</p> <p>8/19 水島出前教室：水島小学校 水島仲よし児童育成クラブ（リサイクル）</p> <p>8/21 水島出前教室：神亀小学校 亀の子クラブ（海ごみ）</p> <p>10/3 岡山後楽館高校（海ごみ）</p> <p>10/21 岡山市立平井小学校（フードマイレージ）</p> <p>11/11 岡山市立可知小学校（フードマイレージ）</p> <p>11/30 井原市環境課（海ごみ）</p> <p>12/12 岡山後楽館高校 地域理解講座（海ごみ）</p> <p>2020/1/31 倉敷市立水島小学校（水島の公害について）</p> <p>3/1 緑丘コミュニティ協議会（児島稗田）（海ごみ）</p>

③大学・企業向け視察研修

事業内容	<p>前年に引き続き、倉敷医療生協の新入職員研修や山陽新聞社の新入職員研修、川崎医科大学や岡山大学の学生・留学生の受け入れが、合計 12 件あり、延べ約 280 名が水島地域で学んだ。</p> <p>4/3 倉敷医療生協新入職員研修の受入 37 名</p> <p>4/10 川崎医科大学見学実習（1 回目）受入 37 名</p> <p>4/22 山陽新聞社新入職員研修の受入 7 名</p> <p>4/24 川崎医科大学見学実習（2 回目）受入 25 名</p> <p>5/14 川崎医科大学見学実習（3 回目）受入 37 名</p> <p>5/29 岡山大学グローバルパートナーズ留学生（オランダ）研修受入 27 名</p> <p>5/29 川崎医科大学見学実習（4 回目）受入 25 名</p> <p>6/19 川崎医科大学見学実習（5 回目）受入 25 名</p> <p>8/8 島根民医連受入 8 名</p> <p>8/28-30 倉敷市立南中学校チャレンジワーク受入</p> <p>10/21 日韓中地理学会巡検受入 40 名</p> <p>11/20 岡山大学キャンパスアジア（吉林大学）フィールドワーク受入 14 名</p>
-------------	---

④人々が健康的に暮らせる地域づくり事業

・ COPD（慢性閉塞性肺疾患）の早期発見・治療を目指す地域連携のしくみづくり

事業内容	<p>前年までの（独法）環境再生保全機構の予防事業の成果を引き継ぎ、水島地域各地のミニ健康展などにおける肺年齢測定を継続し、地域における COPD の早期発見・治療の取り組みを進めた。くらしき COPD ネットワークとして、これらの成果を生かした今後の取り組みについて議論を積み重ねた。</p> <p>【肺年齢測定】</p> <p>5/26 肺年齢測定（連島南）</p> <p>7/9 肺年齢測定（福井公民館）</p> <p>6/17 肺年齢測定（連島東）</p> <p>6/18 肺年齢測定（三福）</p> <p>9/27 肺年齢測定（四福、船穂）</p> <p>10/5 肺年齢測定（五福）</p>
-------------	--

	11/10 第7回呼吸リハビリテーション教室「スポーツウェルネス吹き矢を体験しよう」開催 11/13 肺年齢測定（一福） 11/22 肺年齢測定（旭丘） 12/20 環境再生保全機構連絡会（東京）に参加 【COPD 検討会】 第1回（7/2） 第2回（2020/3/16）
--	---

組織運営

前年度監査を5月16日に行った。

6/9 第38回理事会

6/23 第18回評議員会

9/29 第39回理事会

10/20 第40回理事会

12/22 第41回理事会

2020/2/11 第42回理事会

3/8 第43回理事会

3/29 第19回評議員会

受取会費は、1,090,000円であった。

受取寄附は、1,597,628円（みずしま財団設立20年記念事業寄附1,365,928円、不特定寄附231,700円）であった。